

## 地域経済動向レポート

調査時期	2019年10月		対象期間	2019年7～9月		
対象事業所	小規模事業者	商工振興モニター100件 回答100件 (前回100件) 市内金融機関取引先20件 回答15件 (前回13件) 継続調査先100件 回答45件 (前回58件)	業種	小規模回答件数	中企業回答件数	
			建設業	22	1	
			製造業	39	18	
	中企業	役員・議員・委員会・部会・ブロック会から 83件 回答34件 (前回38件)	卸売業	18	5	
			小売業	20	6	
		サービス業	38	3		
		その他	23	1		
全調査対象303件/回答194件 (64.0%)			<b>全産業合計</b>	<b>160</b>	<b>34</b>	
付帯調査	BCP (緊急時企業存続計画又は事業承継計画) の導入について					

### ※ D I = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

①市内小規模の売上DIは (前回△2.9→今回3.1) マイナスからプラスに好転、先行きは消費増税開始の10月以降はやや悪化減少の変化が見られる。

市内中企業の売上DIは (前回△10.5→今回11.8) マイナスから大幅に好転するも、先行きは再度マイナスの見通し。

中小機構実施の全国小規模の業況判断DIは (前回△16.8→今回△17.6)、東海財務局実施の東海地区 (愛知、岐阜、三重、静岡) 中小企業の業況判断も (前回△17.0→今回△10.3) とマイナス基調が続いている。

市内小規模業種別では、建設はプラス基調を維持しているが徐々に悪化傾向で、製造は一時的にやや改善されるも先行きは再びマイナス基調の見通し。卸と小売は継続的にマイナス基調だが先行きはプラスに好転の見通し。サービスが全般的に好調を続けていたが、先行きは反転悪化の見通し。

## 地域経済動向レポート

②市内小規模の採算DIは、反転悪化（前回6.1→今回△5.6）。

業種別では、建設は悪化傾向が続いているが先行きはやや改善の見通し。製造はやや改善も引き続きマイナス基調。卸・小売・その他はプラスから大幅にマイナスに反転し悪化。サービスは徐々に悪化傾向の見通し。

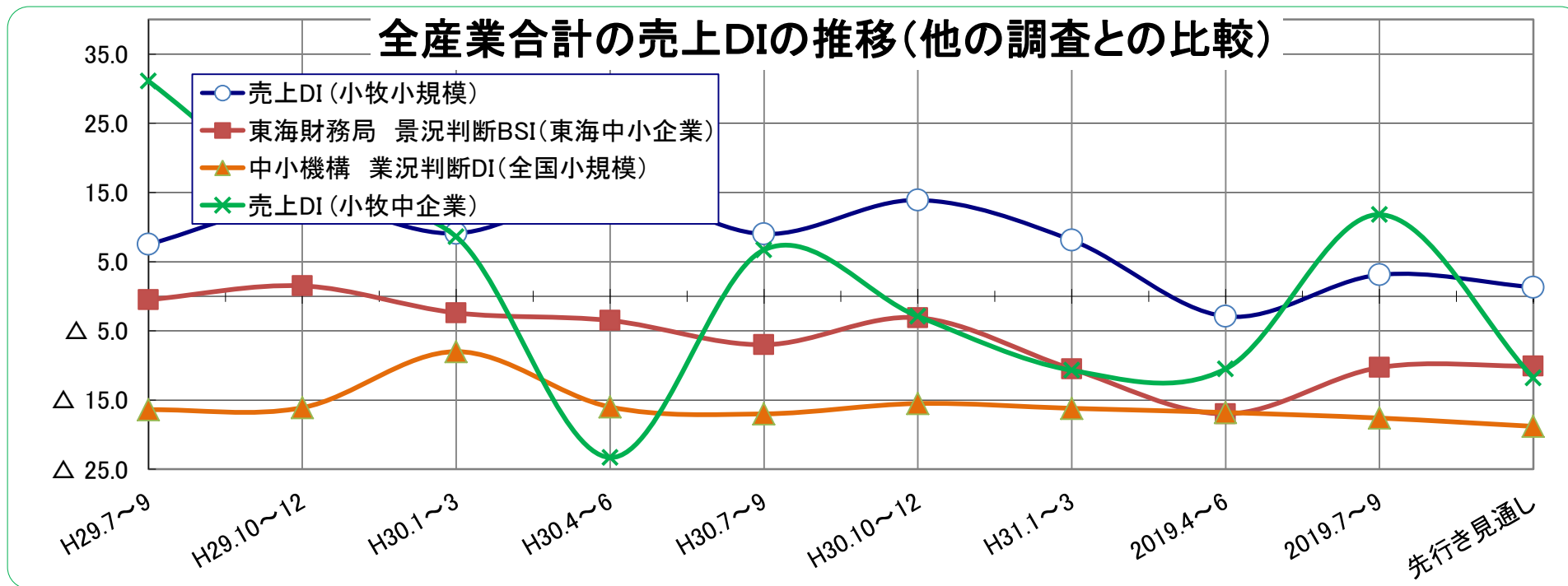
③市内小規模の資金操りDIは反転悪化傾向（前回△4.7→今回△1.3）。

建設は好調の見通し、製造はやや改善も引き続きマイナス基調。卸・小売りはマイナスからプラスに先行きは好転の見通し。サービスは今回は一時的にプラスであるが先行きは再び悪化の見通し。

④市内小規模の従業員DIは、0.1ポイント下降（前回△12.3→今回△12.5）。

建設は大きくマイナス傾向が続き、製造の不足感が強くなっている。サービスは若干改善傾向が見られるが、全産業不足感が根強く、厳しい状態は変わらず。

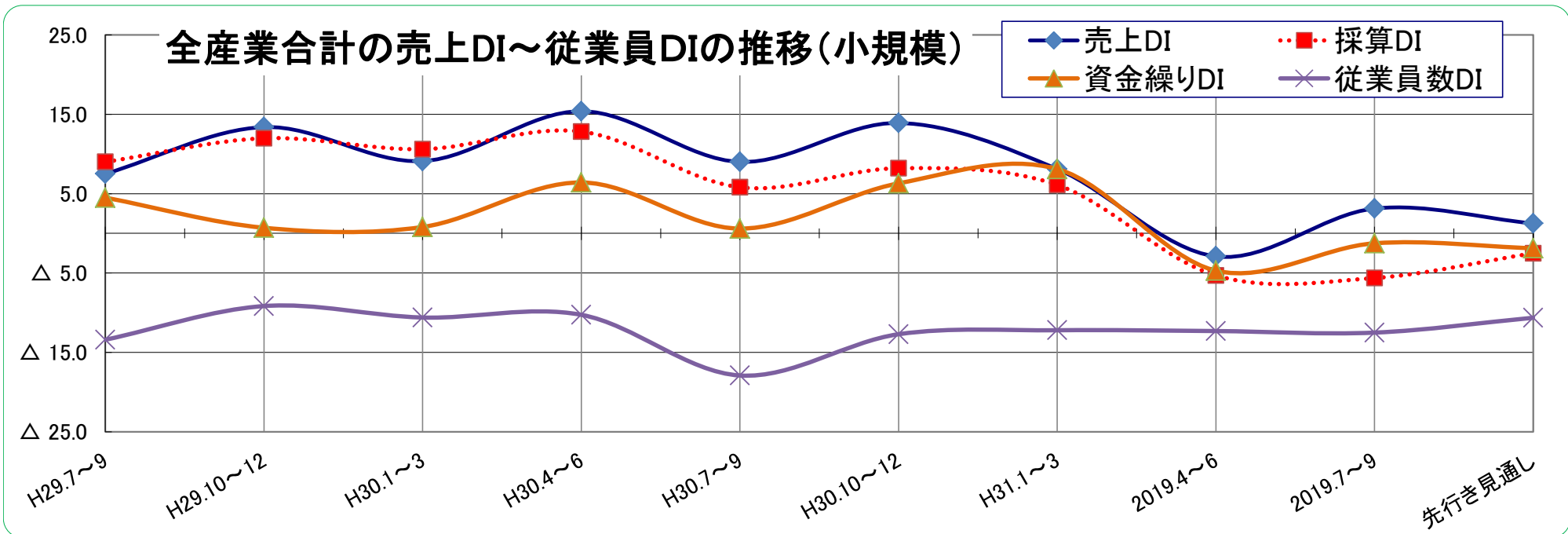
※従業員において過剰感が強い場合はプラス、不足感が強い場合はマイナス



●全産業合計の売上DI推移

調査実施月	H29.10	H30.01	H30.04	H30.07	H30.10	H30.1	H30.4	2019.7	2019.10.	
調査期間	H29.7~9	H29.10~12	H30.1~3	H30.4~6	H30.7~9	H30.10~12	H31.1~3	2019.4~6	2019.7~9	先行き見通し
売上DI (小牧小規模)	7.5	13.4	9.1	15.4	9.0	13.9	8.1	△ 2.9	3.1	1.3
売上DI (小牧中企業)	31.1	14.3	8.6	△ 23.3	6.7	△ 2.9	△ 10.7	△ 10.5	11.8	△ 11.8
中小機構 業況判断DI (全国小規模)	△ 16.4	△ 16.1	△ 8.0	△ 16.0	△ 17.0	△ 15.5	△ 16.2	△ 16.8	△ 17.6	△ 18.8
東海財務局 景況判断 BSI (東海中小企業)	△ 0.5	1.5	△ 2.4	△ 3.5	△ 7.0	△ 3.1	△ 10.5	△ 17.0	△ 10.3	△ 10.1

\* 東海財務局 法人企業景気予測調査の「中小企業」の定義：資本金1千万以上1億円未満の企業



●全DIの推移

調査実施月	H29.10	H30.01	H30.04	H30.07	H30.10	H31.1	H31.4	2019.7	2019.10 (小規模)		2019.10 (中企業)	
調査期間	H29.7~9	H29.10~12	H30.1~3	H30.4~6	H30.7~9	H30.10~12	H31.1~3	2019.4~6	2019.7~9	先行き見通し	2019.7~9	先行き見通し
売上DI	7.5	13.4	9.1	15.4	9.0	13.9	8.1	△ 2.9	3.1	1.3	11.8	△ 11.8
採算DI	9.0	12.0	10.6	12.8	5.8	8.2	6.1	△ 5.3	△ 5.6	△ 2.5	17.6	△ 11.8
資金繰りDI	4.5	0.7	0.8	6.4	0.6	6.3	8.1	△ 4.7	△ 1.3	△ 1.9	△ 2.9	△ 5.9
従業員数DI	△ 13.4	△ 9.2	△ 10.6	△ 10.3	△ 17.9	△ 12.7	△ 12.2	△ 12.3	△ 12.5	△ 10.6	△ 47.1	△ 38.2

## 地域経済動向レポート

### ●売上DIの推移（小規模）

調査実施月	H29.10	H30.01	H30.04	H30.07	H30.10	H31.01	2019.4	2019.7	2019.10.	
調査期間	H29.7~9	H29.10~12	H30.1~3	H30.4~6	H30.7~9	H30.10~12	H31.1~3	2019.4~6	2019.7~9	先行き見通し
全産業	7.5	13.4	9.1	15.4	9.0	13.9	8.1	△ 2.9	3.1	1.3
建設業	△ 15.8	△ 9.1	△ 16.7	16.7	16.1	24.1	48.3	20.0	13.6	9.1
製造業	2.9	28.2	21.2	32.4	6.3	15.2	△ 6.7	△ 28.9	△ 2.6	△ 17.9
卸売業	0.0	14.3	57.1	△ 6.7	6.7	△ 13.3	△ 16.7	△ 14.3	△ 27.8	16.7
小売業	0.0	12.5	△ 9.5	△ 20.0	△ 40.9	△ 18.2	△ 9.5	△ 4.3	△ 10.0	0.0
サービス業	36.0	21.4	28.6	24.3	31.4	31.6	11.4	17.9	26.3	△ 2.6
その他	13.0	0.0	△ 8.3	20.0	19.0	19.0	0.0	△ 8.0	0.0	21.7

建設は今年の1月から3月期をピークに引き続き悪化。製造はやや改善も先行き悪化。卸と小売はマイナス傾向が続いていたが先行きはプラスに好転の見通し。サービスはH29年より好調を維持してきたが、先行きは反転悪化の見通し。

### ●売上DIの推移（中企業）

調査実施月	H29.10	H30.01	H30.04	H30.07	H30.10	H31.01	H31.04	2019.7	2019.10.	
調査期間	H29.7~9	H29.10~12	H30.1~3	H30.4~6	H30.7~9	H30.10~12	H31.1~3	2019.4~6	2019.7~9	先行き見通し
全産業	31.1	14.3	8.6	△ 23.3	6.7	△ 2.9	△ 10.7	△ 10.5	11.8	△ 11.8
建設業	33.3	25.0	-	△ 100.0	0.0	50.0	100.0	100.0	100.0	100.0
製造業	39.1	15.0	0.0	△ 16.7	15.8	5.3	△ 35.3	△ 17.4	△ 5.6	△ 5.6
卸売業	50.0	57.1	20.0	0.0	△ 100.0	△ 100.0	0.0	△ 66.7	0.0	△ 80.0
小売業	33.3	0.0	75.0	△ 33.3	25.0	20.0	0.0	0.0	50.0	0.0
サービス業	33.3	△ 50.0	△ 20.0	△ 40.0	0.0	△ 66.7	66.7	33.3	33.3	0.0
その他	△ 16.7	0.0	△ 50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 地域経済動向レポート

### ●採算DIの推移（小規模）

調査実施月	H29.10	H30.01	H30.04	H30.07	H30.10	H31.01	H31.04	2019.7	2019.10.	
調査期間	H29.7~9	H29.10~12	H30.1~3	H30.4~6	H30.7~9	H30.10~12	H31.1~3	2019.4~6	2019.7~9	先行き見通し
全産業	9.0	12.0	10.6	12.8	5.8	8.2	6.1	6.1	△ 5.6	△ 2.5
建設業	10.5	9.1	△ 5.6	13.3	9.7	13.8	27.6	27.6	9.1	13.6
製造業	8.6	17.9	15.2	29.4	9.4	6.1	△ 10.0	△ 10.0	△ 7.7	△ 17.9
卸売業	△ 12.5	0.0	42.9	6.7	0.0	△ 13.3	8.3	8.3	△ 22.2	△ 5.6
小売業	4.2	12.5	0.0	△ 15.0	△ 27.3	△ 9.1	4.8	4.8	△ 20.0	△ 5.0
サービス業	24.0	17.9	32.1	21.6	22.9	18.4	5.7	5.7	5.3	0.0
その他	4.3	0.0	△ 8.3	0.0	4.8	19.0	0.0	0.0	△ 8.7	8.7

建設は悪化傾向が続いているが先行きはやや改善の見通し。製造はやや改善も引き続きマイナス基調。卸・小売・その他はプラスから大幅にマイナスに反転し悪化。サービスは徐々に悪化傾向の見通し。

### ●採算DIの推移（中企業）

調査実施月	H29.10	H30.01	H30.04	H30.07	H30.10	H31.01	H31.04	2019.7	2019.10.	
調査期間	H29.7~9	H29.10~12	H30.1~3	H30.4~6	H30.7~9	H30.10~12	H31.1~3	2019.4~6	2019.7~9	先行き見通し
全産業	15.6	16.7	△ 11.4	△ 36.7	△ 10.0	2.9	△ 10.7	2.6	17.6	△ 11.8
建設業	0.0	25.0	-	△ 100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
製造業	17.4	25.0	△ 37.5	△ 27.8	△ 10.5	5.3	△ 41.2	△ 4.3	11.1	△ 11.1
卸売業	25.0	28.6	40.0	0.0	△ 50.0	△ 33.3	50.0	△ 33.3	20.0	△ 60.0
小売業	16.7	0.0	25.0	△ 66.7	△ 25.0	0.0	25.0	28.6	33.3	16.7
サービス業	33.3	0.0	△ 20.0	△ 60.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	△ 33.3
その他	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 地域経済動向レポート

### ●資金繰りDIの推移（小規模）

調査実施月	H29.10	H30.01	H30.04	H30.07	H30.10	H31.01	H31.04	2019.10.	2019.10.	
調査期間	H29.7~9	H29.10~12	H30.1~3	H30.4~6	H30.7~9	H30.10~12	H31.1~3	2019.4~6	2019.7~9	先行き見通し
全産業	4.5	0.7	0.8	6.4	0.6	6.3	8.1	△ 4.7	△ 1.3	△ 1.9
建設業	21.1	0.0	5.6	6.7	△ 3.2	0.0	20.7	12.0	18.2	22.7
製造業	11.4	5.1	3.0	8.8	3.1	15.2	10.0	△ 21.1	△ 7.7	△ 15.4
卸売業	△ 12.5	0.0	0.0	6.7	△ 13.3	△ 6.7	16.7	△ 9.5	△ 5.6	0.0
小売業	△ 8.3	△ 12.5	0.0	△ 15.0	△ 9.1	0.0	0.0	8.7	△ 15.0	5.0
サービス業	4.0	3.6	7.1	13.5	14.3	7.9	0.0	△ 5.1	0.0	△ 10.5
その他	0.0	4.5	△ 12.5	10.0	0.0	14.3	4.8	△ 4.0	4.3	4.3

建設は好調の見通し、製造はやや改善も引き続きマイナス基調。卸・小売りはマイナスからプラスに先行きは好転の見通し。サービスは今回は一時的にプラスであるが先行きは再び悪化の見通し。

### ●資金繰りDIの推移（中企業）

調査実施月	H29.10	H30.01	H30.04	H30.07	H30.10	H31.01	H31.04	2019.7	2019.10.	
調査期間	H29.7~9	H29.10~12	H30.1~3	H30.4~6	H30.7~9	H30.10~12	H31.1~3	2019.4~6	2019.7~9	先行き見通し
全産業	17.8	7.1	△ 5.7	△ 13.3	△ 3.3	△ 2.9	3.6	△ 13.2	△ 2.9	△ 5.9
建設業	33.3	25.0	-	△ 100.0	100.0	50.0	100.0	100.0	△ 100.0	100.0
製造業	13.0	10.0	△ 6.3	△ 11.1	△ 10.5	△ 5.3	△ 23.5	△ 21.7	△ 11.1	△ 11.1
卸売業	25.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	△ 33.3	0.0	△ 20.0
小売業	33.3	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	33.3	16.7
サービス業	33.3	△ 50.0	△ 20.0	△ 20.0	0.0	△ 33.3	66.7	0.0	0.0	△ 33.3
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 地域経済動向レポート

従業員数DIの不足感が強い場合マイナス値で表示

### ●従業員DIの推移（小規模）

調査実施月	H29.10	H30.01	H30.04	H30.07	H30.10	H31.01	H31.04	2019.7	2019.10.	
調査期間	H29.7~9	H29.10~12	H30.1~3	H30.4~6	H30.7~9	H30.10~12	H31.1~3	2019.4~6	2019.7~9	先行き見通し
全産業	△ 13.4	△ 9.2	△ 10.6	△ 10.3	△ 17.9	△ 12.7	△ 12.2	△ 12.3	△ 12.5	△ 10.6
建設業	△ 31.6	△ 13.6	△ 11.1	△ 23.3	△ 19.4	△ 20.7	△ 24.1	△ 20.0	△ 31.8	△ 18.2
製造業	△ 8.6	△ 15.4	△ 18.2	△ 2.9	△ 12.5	△ 3.0	△ 3.3	△ 2.6	△ 12.8	△ 10.3
卸売業	△ 25.0	0.0	0.0	0.0	△ 26.7	△ 13.3	△ 8.3	△ 14.3	△ 11.1	△ 16.7
小売業	△ 8.3	0.0	0.0	△ 10.0	△ 13.6	△ 9.1	△ 14.3	△ 13.0	△ 10.0	△ 15.0
サービス業	△ 20.0	△ 7.1	△ 14.3	△ 5.4	△ 20.0	△ 13.2	△ 5.7	△ 17.9	△ 7.9	△ 2.6
その他	0.0	△ 9.1	△ 8.3	△ 20.0	△ 19.0	△ 19.0	△ 19.0	△ 8.0	△ 4.3	△ 8.7

建設は大きくマイナス傾向が続き、製造の不足感が強くなっている。サービスは若干改善傾向が見られるが、全産業不足感が根強く、厳しい状態は変わらず。

### ●従業員DIの推移（中企業）

調査実施月	H29.10	H30.01	H30.04	H30.07	H30.10	H31.01	H31.04	2019.7	2019.10.	
調査期間	H29.7~9	H29.10~12	H30.1~3	H30.4~6	H30.7~9	H30.10~12	H31.1~3	2019.4~6	2019.7~9	先行き見通し
全産業	△ 37.8	△ 50.0	△ 37.1	△ 46.7	△ 30.0	△ 52.9	△ 35.7	△ 42.1	△ 47.1	△ 38.2
建設業	△ 66.7	△ 25.0	-	△ 100.0	0.0	△ 50.0	0.0	△ 100.0	△ 100.0	0.0
製造業	△ 34.8	△ 55.0	△ 31.3	△ 44.4	△ 31.6	△ 57.9	△ 41.2	△ 30.4	△ 44.4	△ 38.9
卸売業	△ 50.0	△ 71.4	△ 20.0	△ 50.0	0.0	0.0	△ 100.0	△ 100.0	△ 60.0	△ 40.0
小売業	△ 16.7	△ 25.0	△ 25.0	△ 66.7	△ 50.0	△ 80.0	0.0	△ 57.1	△ 66.7	△ 66.7
サービス業	△ 66.7	△ 25.0	△ 60.0	△ 40.0	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3	0.0	0.0
その他	△ 33.3	△ 66.7	△ 50.0	0.0	0.0	△ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0



## 地域経済動向レポート

### 業況感と業界として当面している問題等に関する声（小規模）

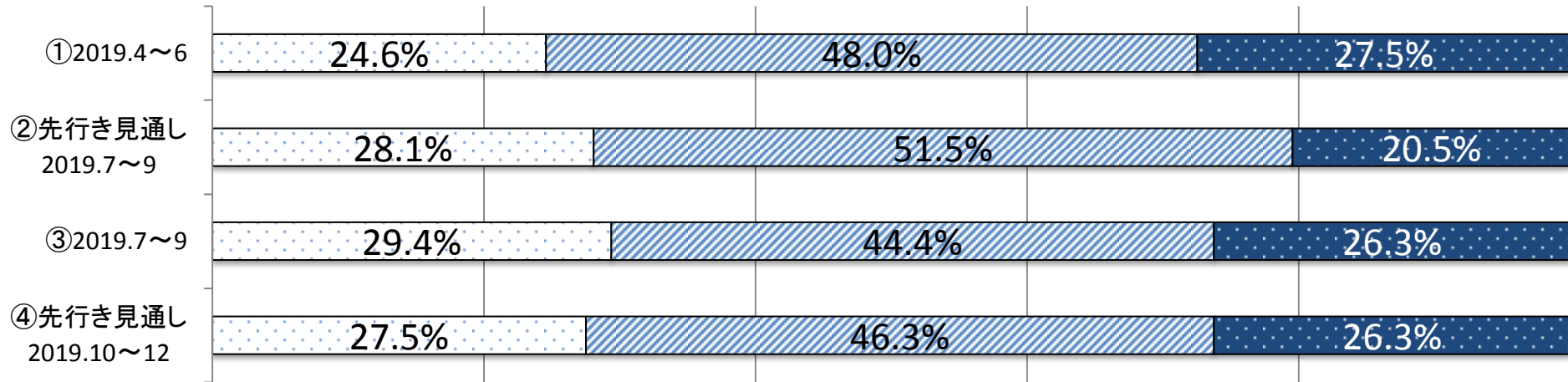
建設	昨年度から、受注する仕事を選定し、利益率の高い受注を対応しており、採算・資金繰りについては増加傾向にある。（園芸） 住宅向け光ケーブルの受注が好調。（通信工事） 事業主が高齢(71歳)のため、仕事量のセーブをし始めたので、仕事量の減少が起き、売上の減少につながっている。（電気工事）
製造	電力会社向けの製品がピーク時の1/3。中電の新しい機種がなくなった。工作機械関係で4社新規開拓したが、電力関係で減少した分を補いきれない。（電線ケーブル製造） 工作機械業は半減。半導体搬送装置の部品は20%減。半導体機械装置は中国からアメリカで移動した事により増産30%。民生品などは微減。（金属製品製造） ねんし業界全体が悪い（自動車に限らず）出荷ベースで20%程度、前年より落ち込んでいる。（ボルト・ネジ製造）
卸売	商品単価値上げが価格転嫁できず。客数減少により売上・採算の悪化。（建築材料卸） 販路拡大で増収増益、仕入れコスト見直しも好転因。扱い商品の拡充で好転（畜産物卸） 米中貿易摩擦の影響が現実化。工作機械系はリーマン級の悪化状態が年末まで続く模様。弱電、自動車大手の下方修正（鉄鋼製品卸）
小売	イトインもなく消費増税の影響なし（菓子・パン小売） 高齢化による販売先の閉店で受注減少（燃料小売） 消費税増税の影響もあり駆け込み需要での売上増加。従業員数は変わらず、代替わりも今わ考えていない。（家具・建具小売）
サービス	昨年は小規模事業者持続化補助金採択直後で店内は改装前の状況 改装後は売上に結びついていると感じる（飲食業） 福祉車両（改造、器具設置）の取り扱いを始めた効果、実績が上がっている（自動車板金） キャッシュレス機種導入による集客及びアピタ桃花台の改装に伴う集客が考えられる。（飲食業）
その他	前年と比べ休日等が多いことによる影響。（物流） 今年の春に顧客と交渉。人件費上昇のため運賃を値上げしてもらった。（物流）

### 業況感と業界として当面している問題等に関する声（中企業）

製造	昨年度は新旧部品の切替の都合で売上不調、今年度は消費税対策の駆け込み需要の影響もあり。昨年度比増受ではあるが、傾向値としては暫らく減傾向。コスト増というよりも価格低下対策としての合理化投資急務。（金属加工機械製造）
卸売	消費税増税の駆け込みがあったため。（家具・建具卸）

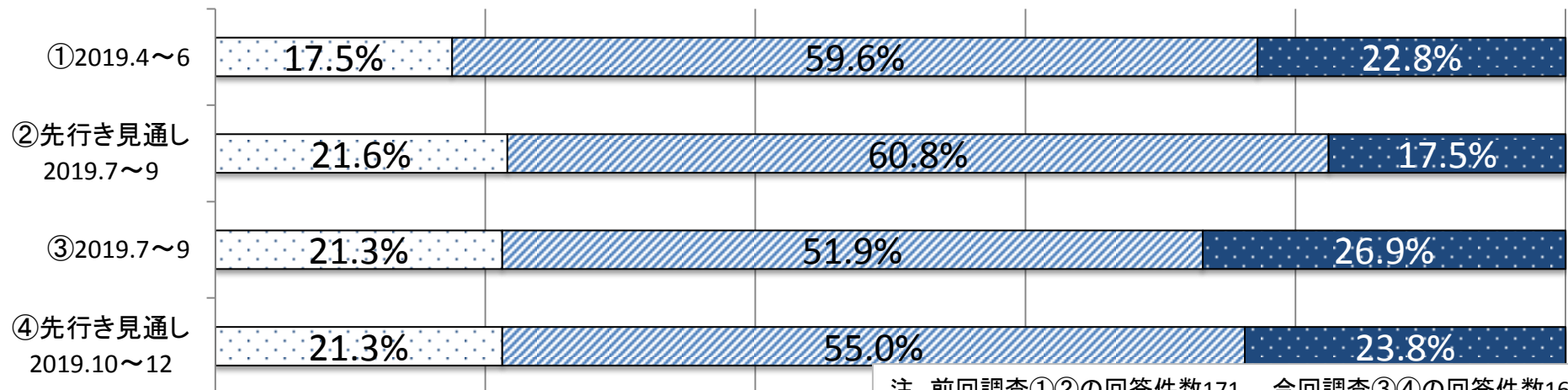
### 小規模の売上(回答割合)

□ 増加    ▨ 不変    ■ 減少



### 小規模の採算(回答割合)

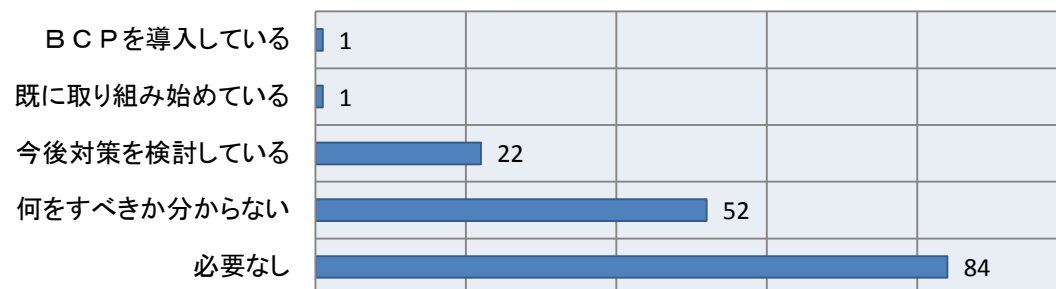
□ 好転    ▨ 不変    ■ 悪化



注 前回調査①②の回答件数171 今回調査③④の回答件数160

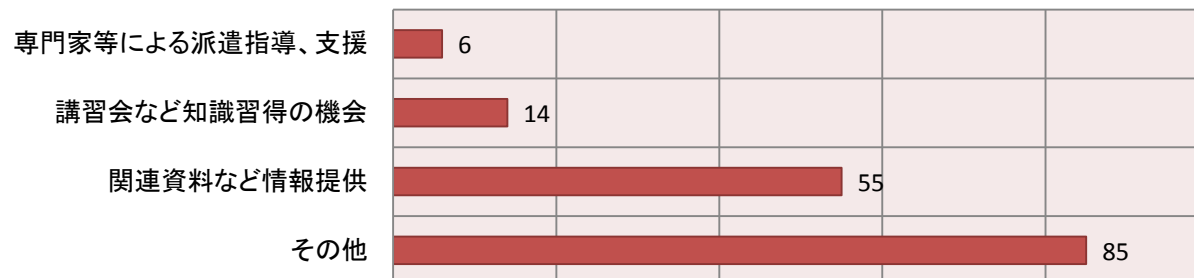
## 1. BCPの取り組みに対する現状

■ 件数



## 2. BCPに必要なこと、求めることは何ですか

■ 件数



### 【その他】

- ・特に無し
- ・必要性を感じない
- ・余裕が無い
- ・管理会社に任せてある